

5月9日は富山県誕生の日

高志の国から富山県へ

万葉の歌人、大伴家持が国司として、こよなく愛した越中国は、その昔、越（高志）の国といわれました。

木曾義仲の侵入から佐々成政までが越中。

前田利次が加賀藩から分封されて治めた富山藩。

そして明治4年、廃藩置県により一時は富山県とされたが、その後数年の間に、新川県や石川県と変せんした私たちの郷土は、米沢紋三郎らの熱烈な分県運動が実を結び、ついに、明治16年5月9日、石川県から分県して現在の富山県が誕生しました。

富山県になって

それから95周年を迎えた今日まで、稲作農業を中心としながらも、伏木港や富山港を開き、道路と鉄道に先覚し、荒れ狂う河川を治め、その豊かな水を利用して電源王国の名を手中にし、いまや、日本海側沿岸屈指の工業県として発展を続けております。

勤勉で、忍耐強い県民性は、教育熱の高まりとなって、全国屈指の教育県と言われる程になり、県民はいま、学校教育のみならず、生涯教育への取り組みに熱心な傾注をみせています。

富山県はいま

いま、富山県は愛と繁栄の県政を基本に、福祉行

政の充実と企業の発展、若い活力ある人口構成と魅力ある都市づくり、豊かな心のかよひ合う地域社会の形成、歴史をふまえての郷土の見直しなど、真剣に取り組んでいます。

富山県誕生記念募集の企画

富山県の誕生日を記念して、県民のみなさんが自発的に県政に参加していただく、次のような行事を企画しています。

▲ 一日所長

昨年初の試みとして好評を得ました、県の出先機関の「一日所長」を今年も行ないます。

県内の各分野で、地道に活躍されている方の中から、約30名に所長を経験していただくよう、現在準備しています。

▲ 小・中学生の図画募集(7～8月)

「こんな郷土にしたい」、「僕の私の夢富山県」、「すばらしい郷土」など、クレパスや水彩で、画用紙いっぱい画いていただきます。

▲ 郷土に関する主張作文募集(7～8月)

中学生・高校生・青年・婦人・一般から、「私が考える郷土富山県」、「これからの富山県」など、郷土に関する主張作文を募集いたします。

募集についての詳細が決まり次第、お知らせいたしますので、ふるってご応募くださるよう、いまから執筆の準備しててください。